



本事業は、SDGsの「17 パートナシップで目標を達成しよう」に資する取組です。

2026年5月22日（金）

愛知県政策企画局

国際課国際戦略グループ

担当 野村、中井

内線 2448、2399

ダイヤル 052-954-6130

愛知県経済産業局海外連携推進課

海外連携グループ

担当 中野、土本

内線 5189、5181

ダイヤル 052-954-7474

知事の米国渡航中の行事結果について

2026年5月18日（月）午後、知事は米国カリフォルニア州において、トヨタ自動車トヨタリサーチインスティテュートが米国に設立したToyota Research Institute (TRI) と Apple 本社を訪問しました。

1 Toyota Research Institute (TRI) 訪問

（担当課：国際課）

(1) 日時

2026年5月18日（月）午後0時45分から午後1時55分まで

（日本時間5月19日（火）午前4時45分から午前5時55分まで）

(2) 場所

TRI 本社（ロスアルトス市）

(3) 主な応対者

ギル・プラット 最高経営責任者（CEO）

きだじゅんや
木田 淳哉 常駐取締役

マックス・バジュラチャリヤ ロボティクス・シニアバイスプレジデント（SVP）

(4) 愛知県側出席者

大村秀章 知事

(5) 内容

大村知事は、トヨタ自動車トヨタリサーチインスティテュートが米国に設立した先端研究・開発を行う Toyota Research Institute (TRI) を訪問しました。

初めに、大村知事から、「2024年5月に訪問して以来、2年ぶりに訪問できたことを嬉しく思う。愛知県では、2024年10月に日本最大のスタートアップ支援拠点である STATION Ai が開業し、現在は700社のスタートアップと400社のパートナー企業が会員となっている。トヨタ自動車を始め、トヨタグループの企業にも参画いただき、イノベーションを推進している。本日はAI、自動運転、ロボティクスの最新の状況についてお聞きできれば嬉しく思う。」と挨拶しました。

その後、プラット CEO から、AI 技術の現状と、TRI における AI の研究・開発に関する方向性について説明を受けました。

続いて、バジュラチャリヤ SVP の説明の下、生産現場における物流・運搬等に用い

るロボティクスの研究開発を視察しました。

最後に、大村知事は、「ここで開発される技術が、日本の工場でも活用されることを楽しみにしている。また、トヨタ自動車が発表した豊田市貞宝町に新設する工場は、AIを活用した未来工場になると聞いており、今後のTRIの研究や取組にも期待する。」と述べるなど、トヨタ自動車の新工場へのAIの活用方法について意見交換をしました。



意見交換の様子



研究施設視察の様子



ギル・プラット CEO との記念撮影

2 Apple 本社 訪問

(担当課：海外連携推進課)

(1) 日時

2026年5月18日(月) 午後3時30分から午後5時15分まで

(日本時間 2026年5月19日(火) 午前7時30分から午前9時15分)

(2) 場所

Apple 本社 Apple Park (クパチーノ市)

(3) 主な応対者

相手先との取決めにより非公表

(4) 愛知県側出席者

大村秀章 知事

(5) 内容

大村知事は、カリフォルニア州クパチーノ市の Apple 本社を訪問しました。

最初に、大村知事から愛知県が STATION Ai を軸にスタートアップに加え、企業等から構成されるモノづくり融合型の独自のスタートアップエコシステムを形成している旨や愛知県のスタートアップ支援等の取組について説明をしました。

次に、大村知事と Apple 社との間で、創造的なアイデアによってどのように優れたアプリが生まれ、スタートアップの成長につながるのか、そして Apple 社として愛知県内のアプリ開発者や学生をどのように支援できるかについて意見交換をしました。

その後、大村知事は、Apple Park 内を案内されました。



Apple Park にて記念撮影